

脱毛サロンに行ったら部活の先輩
がスタッフをしてて、おちんちんの毛
を剃られた・・・

地元の脱毛サロンに予約を入れたのは、大学の夏休みに入ってからだった。夏になるとどうしても気になる陰部の蒸れ。自分で剃るのも限界があるし、綺麗に仕上げてもらいたくて、思い切って来たのだ。

受付を済ませて待合室で待っていると、名前を呼ばれた。カーテンを開けて中に入った瞬間、俺は固まってしまった。

「……え？ ゆうくん？」

そこに立っていたのは、近所に住む先輩の美咲さんだった。高校の部活の先輩で、小学生の頃からずっと遊んでくれてたお姉さん。大学に入ってから少し疎遠になっていたけど、まさかこんなところで再会するなんて。

「先輩……？なんでここに……」

「私、ここで働いてるのよ。めっちゃ偶然じゃん！ええっと……ゆうくん、今日のメニューはVIOフル脱毛ね。下半身全部？」

美咲さんはいつも通り明るく微笑みながら、予約表を確認する。俺は顔から火が出そうだった。

「あ、えっと……やっぱり帰ります。気まずいし、恥ずかしいんで……」

「ちょっと待ってよ。せっかく来たんだし、やってあげるよ！サービスしてあげるから、お金少しでいいよ」

「いや、でも……先輩にちんちん見られたくないです……」

「大丈夫だって。仕事で慣れてるし。ゆうくんのためからって特別視しないから」

そう言われても納得いかないまま、美咲さんは俺の腕を引いて施術室のベッドに座らせた。カーテンを閉め、照明を少し落とす。

「じゃあ脱いで。パンツも全部」

「……本当に？」